

昔遊びに子ども笑顔咲いた

団体職員

山元 保(69)

夏休みの初日に、鹿児島市の松元地域あいご子ども会大会とスポーツ大会が開かれた。

混成チームで花いちもんめが始まった。当初は知らない仲間たちに戸惑う子どももいた。しかし、

遊び続けているうちに声が大きくなり、つないだ手も大きく振っていた。

「勝つてうれしい花いちもんめ」「負けて悔しい花いちもんめ」。子どもたちの弾む声が体育館に響き渡った。

その後、じゃんけん列車やハンカチ落としと遊

びが続いた。日頃はパソコンゲームを楽しんでいると思われる現代っ子たちだ。「昔ながらの遊びに果たして興味を持つだろうか」と気になったが

心配は無用だった。仲間たちと一緒に遊ぶ楽しさは、今も昔も変わらないようだ。

遊び方を教え、人見知りの子どもの手を取って活動を支えてくれたのは中学生だ。実行委員となつてこの事業を担うのが松元地域の伝承となっている。やり遂げた感でいっぱいの中学生の顔がまぶしかった。

(鹿児島市)